



### らくご 落語 をよ読んでみよう



落語は、落ち（オチ）のある滑稽こっけいばなしを、ひとりで演えんじる芸げいのうたです。江戸時代えどじだいのころからひとびとひとびとのたのしみたのしみをさせてきました。今も新しい落語が作られています。落語は聞いて楽しむものですが、落語の本もたくさんあります。本を読み込んで、演えんじてみてはいかがでしょうか。



文・桂文我/BL出版

漢字かんじの読めないかめきちがおつかいにでかけます。みんなが漢字かんじの読み方よみかたを教えてくださいますが…



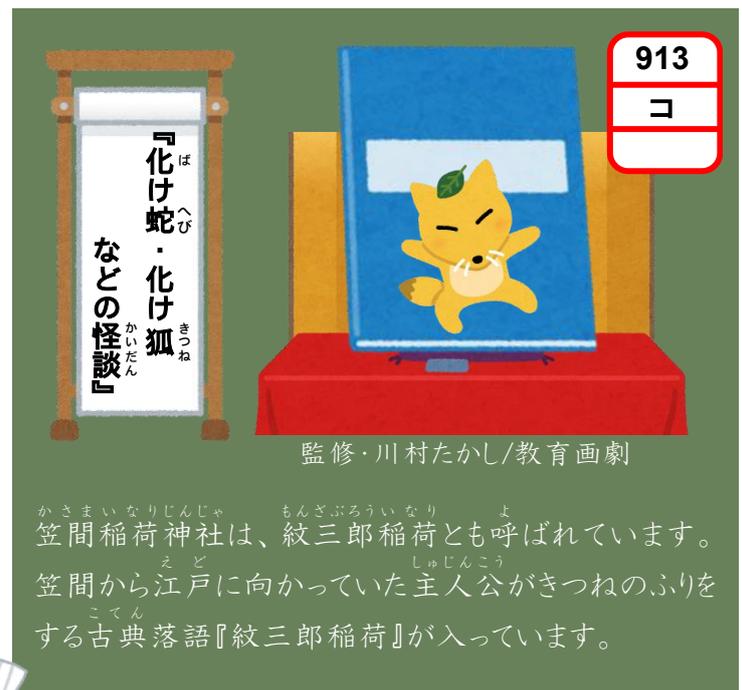
脚本・桂文我/童心社

動物園どうぶつえんへアルバイトにやってきた、なまけものうめさん。その仕事しごとはなんと…！？



文・古今亭菊千代/偕成社

江戸えどの文化ぶんかを感じながら、落語らくごを楽しもう！  
めざせ！名人めいじん！



監修・川村たかし/教育画劇

笠間かさま稲荷いなり神社じんじゃは、紋三郎もんざぶろう稲荷いなりとも呼ばれています。笠間かさまから江戸えどに向かってむかっていた主人公しゅじんこうがきつねきつねのふりをする古典落語こてん『紋三郎稲荷』が入っています。



支援員の巡回日は後ほどお知らせいたします